

# ラジオの戦争責任

【法蔵館文庫】

さかもと しんいち  
坂本慎一 著  
▼文庫判・並製カバー！272頁・定価 九九〇円

2022年7月刊行



戦前最強の「扇動者」、ラジオ。その歴史を五人の人物伝によって紐解き、国民が戦争を支持するに至った「日本特有の事情」を炙り出す。

## 【目次】

まえがき

### 序章 最強のマスメディア・日本のラジオ

太平洋戦争に関する疑問／戦前の放送の概要／日本におけるラジオ放送の最大の特徴／本書の概要

### 第一章 「超絶」の演説家 高嶋米峰

高嶋米峰とは／若きころの高嶋／新仏教運動／初演説／「いかに生きるべきか」を問う宗教／雑誌史上初の「廃刊号」／聖徳太子千三百年法要／「超絶」の始まり／「ひのえうま生まれの娘さんたち」／初期ラジオ放送への貢献／教養放送全盛期へ／軍国主義への挑戦／軍部のブラックリスト／連合軍の進駐を迎えて／考察―ラジオ啓蒙の開拓者―

### 第二章 時代の寵児 友松圓諦

友松圓諦とは／世に出る前の友松／十五日間の「法句經講義」／高神覚昇の登場／真理運動の開始／数々のスキヤンダル／雄弁家たちの話し方／その後のラジオ出演／「仏教的非戦論」から戦争礼賛への転向／考察―教養放送全盛期の代表的人物―

### 第三章 熱意の商人 松下幸之助

松下幸之助とラジオ／ラジオと出会うまでの松下／ラジオとの出会い／「ラジオ屋」は水商売の代名詞／「故障絶無」のラジオを目標として／「当選号」の失敗―試行錯誤の日々―／下村宏の高い評価／トップメーカーへの躍進と価格競争／松下のラジオ出演／ラジオ番組「店員の時間」／ラジオの教養番組から生まれた。松下幸之助の言葉／松下の戦争協力／考察―ラジオを国民的のものにした功績―

### 第四章 希代のラジオ扇動家 松岡洋右

松岡洋右とは／四十歳までの松岡／雄弁家として著名に／大演説「十字架の上の日本」／国際連盟脱退と「サヨナラ・スピーチ」／大衆

の英雄から満鉄総裁へ／外務大臣松岡の早技／ラジオ時代の英雄／大臣を罷免される／太平洋戦争と松岡／考察―ラジオによる扇動政治の時代―

### 第五章 玉音放送の仕掛け人 下村宏

下村宏とは／若き日の下村／官僚時代／朝日新聞入社、副社長に／ラジオは「声による新聞」／日本の敗北を予想／軍部からの入閣反対、そして雌伏の日々／軍部に認められる／終戦内閣への参加／天皇への拝謁／昭和天皇、無条件降伏決意の瞬間／終戦の御聖断／録音作業と反乱軍による監禁／三十七分半の日本史上もつとも衝撃的な放送／戦犯容疑／考察―終戦を成功させた男―

### 終章 昭和初期ラジオの功と罪

昭和史研究の盲点／声の文化としてのラジオ／統計重視の災い／集団心理と日本のラジオ／何が太平洋戦争の本質なのか／未来への教訓

あとがき／主な参考文献／法蔵館文庫版・解説

#### ◆著者略歴

坂本慎一（さかもと しんいち）

一九七一年福岡県生まれ。大阪市立大学大学院経済学研究所後期博士課程修了。博士（経済学）。現在、PHP研究所PHP理念経営研究センター研究コーディネーター。著書に『渋沢栄一の経世済民思想』（日本経済評論社）、『玉音放送をプロデュースした男 下村宏』、『戦前のラジオ放送と松下幸之助』（いずれも、PHP研究所）などがある。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
坂本慎一著	法蔵館
定価九九〇円	住所
お名前	お電話

ISBN: 978-4-8318-2636-7 C1121

ラジオの戦争責任 【法蔵館文庫】

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史